

「機械の日」の由来は「機械の日」である。



8月7日は「機械の日」

「機械の日」の由来は「機械の日」である。

「機械の日」の由来は「機械の日」である。

「機械の日」の由来は「機械の日」である。

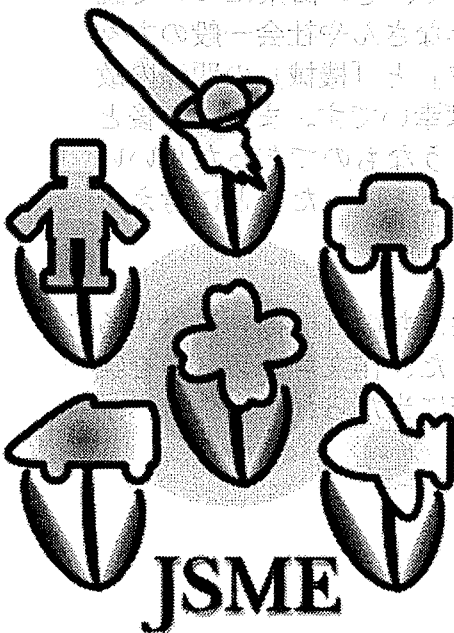
2009年度 「機械の日・機械週間」作文コンテスト

応募作品集

「機械の日」の由来は「機械の日」である。

社団法人 日本機械学会
「機械の日」実行委員会

「機械の日」の由来は「機械の日」である。



2009年8月7日

「機械の日・機械週間」作文コンテスト開催にあたって

「機械の日」実行委員長 谷下 一夫

みなさん、こんにちは。

日本機械学会によって2006年8月7日に「機械の日・機械週間」が制定されたのに伴い、2007年から実施されている作文コンテストは、今回で3回目となりました。今年は、ジュニア会友のみなさんおよび会員のお子さん、お孫さんより、「機械」に関するテーマの作文をたくさんご応募いただきました。

今年の応募者のみなさんは、小学1年生から中学3年生まで、全部で27作品の応募がありました。いずれも力作ぞろいで、審査に当たった審査員の先生方が点数をつけるのに大変苦労したと聞いております。そのうち上位2作品を「優秀賞」に決定しました。

今年の応募作品では、みなさんが、将来「ロボット」が私たちの生活の場面で活躍してくれ、生活を楽しくしてくれるというイメージを持たれていることがわかりました。さらに、ドラえもんの道具ではないですが、「こんな機械、あんな機械があったらいいな」という率直な希望とか夢が書かれていました。そういう夢とか希望を持つことはとても大事なことです。ドラえもんの道具なんかあり得ないと思っている大人が多いかと思いますが、もしかしたら、皆さんが大人になって社会で働いている時代に実現出来るかもしれませんよ。これまでの機械の進歩の歴史を振り返ると、昔は実現不可能と思われた事が次々と実現しているではありませんか。どうか皆さんの夢や希望を大事にしてください。この作文集に書かれている事が将来実現できた時に、この作文集を読みなおして下さいね。

「機械の日・機械週間」については、多くのところで、その由来について説明がなされておりますので、ここで再録はしません。みなさんや社会一般の方々が毎年8月7日のこの時期に星空を眺めながら、「七夕」と「機械」の関係の故事に思いを馳せ、「機械」について考えていただければ幸いです。また、今後とも科学技術の発達により「人類に役立つ機械はどのようなものであったらいいのか」、「未来の社会や機械はどのようなになるのか」などといったことに考えを巡らす機会になればいいと思います。

最後に、この冊子に掲載されている未来を担う子供たちの「機械」に対する思いを多くの方に読んでいただきたいと思います。また、作文コンテストを実施するにあたり、応募していただいたみなさん、審査に当たられた先生方、学会事務職員の方々に厚くお礼申し上げます。

2009年8月7日

も く じ



僕がこの世界であつたらいいなと思う機械	石黒俊太郎(中学校2年) ……	2
僕の夢 万能パネル	井上 敦史(小学校6年) ……	3
機械の昔、今、これから	指宿かなえ(中学校3年) ……	4
オーストラリアの交通機関	内田 天(中学校2年) ……	5
メルボルンのゴミ収集車	内田 璃空(小学校4年) ……	6
役に立つ機械	桐山奈緒子(小学校6年) ……	7
自転車から始まるわたしの機械物語	佐藤 世佳(小学校6年) ……	8
みらいのぼくとひ行き	佐野 泰笙(小学校2年) ……	10
☆ 機械はロボット、ロボットを作る夢	高橋 和華(小学校4年) ……	11
人のため地球のための機械	中川 創磨(中学校1年) ……	12
地球にひつようなきかい	中塚 遼(小学校3年) ……	13
機械でこれからの社会を変える	永野 敦也(小学校4年) ……	14
☆ 未来の機械	滑川 諒(小学校5年) ……	16
ぼくのユメ	原田 拓実(小学校5年) ……	17
未来の機械	東泉 和幸(小学校5年) ……	18
ギアのしんぼ	東泉 佳典(小学校2年) ……	19
もしろぼとがきたら	東野 彰子(小学校1年) ……	20
ぼくがほしいきかい	東野 弘道(小学校3年) ……	21
未来に残る機械	福村 友子(小学校6年) ……	22
自動でおふろがあらえるきかい	藤原 由衣(小学校4年) ……	24
ロボットの可能性	真鍋 輝一(小学校6年) ……	25
僕がびっくりした自動販売機	宮崎 翔也(中学校1年) ……	26
夢はロボット博士	陸田 駿弥(小学校4年) ……	27
ロボットの未来	梁川 樹(中学校2年) ……	28
何でも作ってくれる機械	山田 詠士(小学校1年) ……	30
未来の機はどうなるか	山本 温子(小学校6年) ……	31
大きなおんしつ	吉川祥太郎(小学校2年) ……	32



☆は優秀表彰



僕がこの世界であらうかと思ふ機械
 僕がこの世界であらうかと思ふ機械
 は「人選判断器」です。
 最近、政治家、消防職員、警察官など、本
 来人をまとめたり、守ったりするべき人の不
 祥事が相次いで起こっています。そのような
 ニュースを見ては、頭が痛くなってきました。
 す。一体、どうしたらいいのでしょうか。職
 業に
 したんた！と思ひます。
 しかし、この「人選判断器」を使えば、そ
 の職業にも、と目的確な人を選んでもくれるの
 です。
 特にこの機械を各国の政治家に使えば、世
 界中が平和になると思ひます。
 また、警察官や消防職員に使うと、今より
 も、もっと進歩した捜査、消火が出来ると思
 ひます。
 最後に、先月始まって、なにかと話題に上
 っている裁判員制度。選ばれた人の中には、

20x20

20x20

「ヤリたくない」と言う人もいるのだそう
 です。そんな時にもこの機械を使って、本当に
 やりたい人、判断に優れてる人を選んでも
 れるはずですよ。
 一分でも、いや、一秒でも早くこの機械が
 できたらいいなと思ひます。
 機械学会の皆さんが是非この機械を研究し
 て作ってくれようれしです。
 もし、無理なら、僕が頑張る、勉強して、
 この機械を作りたいです。
 もちろん僕は、僕達のためにいつも頑張る、
 ている政治家、警察官、消防職員がいること
 を知っています。ですが、も、とよ世の中
 になる事を願ってこの機械「人選判断器」を
 考えてみました。
 近い将来、この機械が実現し、素晴らしい
 世の中になることを願っています。

20x20

20x20

僕は、地球環境問題、特にエネルギー問題に興味がある。火力発電はCO₂を出すし主な原料である石油がなくなりかけているので心配だ。原子力発電はとても危険な放射線の問題があるのでも心配だ。水力発電はダムも造る時に自然を破壊することの問題だ。二酸化炭素の問題の多い発電方式と比べて、資源・CO₂・放射線・自然破壊の心配もなく他のクリーンエネルギーと比較すると設置要件の少ない太陽光発電は、将来の発電方式として最もふさわ

しいものだと僕は思う。
しかし僕の家にも友人の家にも太陽電池パネルは設置されていない。普及率は、低いよ。うた。その原因の一つに設置費用が高さがあつた。僕が考えた解決方法は、弱点をなくし新しい機能をつけて多くの人に太陽電池パネルを買いたいと思わせ大量生産を実現する。身もこた。新しい機能にのびて考えてみた。太陽光発電の一番の問題は天気の問題だ。雨や曇りの日は発電ができず、発電効果が低

い。そこで普通の雨を大嵐までの雨の力に変える。雨が降るだけ、屋根の上で水力発電を行おうのだ。曇りの日でも少しの風があれば、木をバタバタを揺らしてハリケーンまでの風力に変えて屋根の上で風力発電を行おうのだ。もし、とすこい機能がなにか考えた。水力風力発電をつけても、こいしても電力が不足する。こいがあるかもしれないから電力会社とのやりとりが必要だろう。そこで僕が達目したのは電信棒だ。僕は自転車に乗って下りて何度

か危険な経験がある。その原因は電信棒だ。電信棒は、危険だし日本の道路をせまくしている。電線の働さを太陽電池パネルにさせてパネルを通して電力のやり取りが行えるように。なにか電信棒をなすことが出来る。もし僕がその開発に関係することかひきたる。万能パネルと名づけた。携帯電話が生まれたことを知った。最初に電話を發明したバルもさぞかし驚かろう。だから僕がこの大きな夢も全く実現不可能とは言えない

り。僕は、十人ながらこのパネルを買ってこ
のパネルに送電も送電をまかせんる社会にな
うて欲しい。それが僕の願いだ。

機械の昔、今、これから
田東中学校 3年 B組
指宿 かなえ
「『機械』の概念は時代ととて大きく変
わつてきているが、有名なのは、F・ルー中一
が19世紀末に与えたものである。それによ
ると『機械』とはく1. 力に対して抵抗力のあ
る物体の組み合わせであつて各部分所定の相
対運動を行い、2. 人間に有用な仕事を行つた
の) である。」辞書で「機械」の項目を調べ
るとそう載つていた。

現代社会で、私たちの生活は掃除機や冷蔵
庫などの家電を始めた様々な「機械」に
囲まれていく。「機械」は私たちにとつて重
要で不可欠なものだ。だが、ふと考えてみた
らどうだろうか。私たちは少し「機械」に頼り
すぎている面もあるのでははないだろうか。

例えば、電卓。電卓を使うと複雑な計算で
もばつと答えがすぐに出せる。だがそれは
「機械」に任せているだけであつて、私たち

の頭はほとんども使わないことになる。電卓を
 發明した人は、すごいと思う。けれど「少
 複雑な計算でも、努力して自力で解くべき
 はないのか」という心も、私の中には生
 てきてしまう。
 他「機械」にしても同じだ。私が思
 は、「仕事を少しでも楽にするために、發明
 された機械」はだんだん利便性を追求する
 故に、どんどん人間を働かせないものにな
 てきていくのではないか。
 少しばかり時間の針を戻してみても、「機
 を扱う人間」のこれからは見直さすだ
 うと思おう。「機械」を扱う人間が変
 ば、人間の能力を、今もなお発展の
 ひとつでいい。「機械」が人間の能力を
 もなく、さらさらに進化した、さらさら
 用いられた、誰にとっても不満、不足
 「機械」が生み出せる事だろう。私も、
 での生活を直して、じっくり「機械」の
 開わり方を考え直していきたい。

オーストラリアの交通機関

内田 天

僕はオーストラリア国のメルボルンに住ん
 でいます。

メルボルンでは日本とは異なる様々な機械
 があります。

その中で僕が興味を持つのはトラムとい
 う乗り物です。トラムというのは町中を走る
 路面電車です。

僕が、興味深く思った事は二つあります。
 一つ目は、電気で動いているので、排気カ
 スを出さず、エコロジカルに動いているとい

う事です。ガソリンに比べ、二酸化炭素排出
 量が少なく、静かに走行します。さらにトラ
 ムの中は座席が色々な角度で多く置いてあり
 たくさんの方が座れます。ベジーカーや自転
 車、車椅子の人にも便利です。また運転手へ
 の降車する合図は、日本では、ボタンを押し
 ますが、トラムはひもを引、ぱりります。

しかし、トラムは道路上を走るので道路渋
 滞に巻き込まれて、時間通りに来ないとい
 う問題もあります。

二つ目は、一つのチケットでバス、電車、トラムに乗れるペリデイトシステムです。メルボルンではた、た一枚のチケットで多様な交通機関に乗れます。

こちらでは、地域によってゾーンIからZに分かれています。例えばゾーンIのチケットを買、たとするとゾーンのエリア内であれば、乗り換え自由です。もちろん、電車からトラムの相互乗り換えも可能です。チケットは一度バリケートシステムの機械に通すだけで乗れます。

さらに、チケットは、駅だけでなく、トラムの中や雑貨屋でも買えます。

僕は、日本にあるパスモやスイカのように一枚で色々な交通機関に乗れる便利な物があるのだから、エリアを簡単に区切り、料金体系をシンプルにすれば、バスや電車がもっと使い易くなると思います。

メルボルンのゴミ収集車

内田 瑞空

ぼくは、今年の一月一日にオーストラリアのメルボルンにきました。

一番最初に、日本とちがうなと思、た事は、ゴミ収集車です。なぜなら、ロボットアームがついていたからです。

はじめに、ゴミの収集について、説明します。メルボルンでは、各家に黒、黄色、緑の大きなゴミ箱が、配付されています。黒は、

もえるゴミ、黄色は、しげんゴミ、緑は、草のゴミです。決められた曜日に家の前に出すと、ゴミ収集車がやって来てゴミを集めて行きます。

次にロボットアームの仕組みです

ロボットアームは、収集車の左がわに付いています。ゴミを入れる時は、勝をのびしてゴミ箱をつかんで上にあげ、ひじと手首を返すようにして、ゴミ箱をひっくり返し、車の上部に空いた穴にゴミを入れます。ゴミ箱を

たおしたり、ゴミを燃焼したりすることほせたいありません。しかしゴミ箱とゴミ箱の間がせまいと、ロボットチームがうまく動かせないので、作業員がゴミ箱を動かします。車が路上にあってできない時も作業員がゴミ箱を動かします。

ぼくは、ロボットチームの動きを見るためにすごいなと思います。もう一つ月には度々木の枝や、みきを集める車にもおどろきました。この車は、爆音を出します。収集した木々をその場で粉碎し、ウッドチップがばかばかであるからです。このウッドチップは公園などに使われているそうです。メルボルンは緑の町と言われています。木も多しからその日本にはない、緑せん用の収集車に感動しました。

日本では、人の手で収集するので、けがなどの危険があります。ロボットチームを使えば、そのようなきがが少なくなります。ぼくは、もっとなんかゴミ収集車やその仕組みを知りたいです。

役に立つ機械

相山 奈緒子

私は、あんなにいいと思う機械を考えた。それは、大型ロボットです。私の家では飼っていたのですが、マニピュレーター、父の許可がおりません。しかし、そのようなロボットはもうあるのです。便利な機能を付けてみようと思います。まあ、体の不自由な人のために、盲導犬

この犬の機能はどうかと思いました。次に、ロボットに空気をキレイにする機能をあつた方がいいと思います。そして、携帯電話も一緒にしたところかと思いましたが、もしもしと犬に言うこと、相手と通じます。逆に、かけたことを相手の名前を言います。かけまちがいのないように、犬が聞こえた名前をくり返します。まさか、こいつは言いたい、あ、こいつは言いたい、と言えは相手に通じます。フクリミリは犬

が相手の如前と言。これから口から出てきます。また、地名を言人はその地図が出てきます。歩く携帯電話として非常に便利です。最後に、朝起きるのがつらい人のために、目覚ましや夕イマリの機能を付けようと思いましたが。明日の起きたい時刻や何分後に呼んでくれる方がいいのか、犬に言えぬ。人と起こしたり、吠えよおこすべくあります。又ケシマインと犬におしえてあげば、時間にほるとおしえてくれます。友達との約束を忘れがちな人も、キーキーの行動で忘るゝうたはります。こんなにはたして人の機能かつくと、大きくて重なるかをしれません。しかし、その分便利であれば私はいいと思つています。また、猫好きの人には猫タイプ、とい、たふうに好きは動物のタイプがあるれはいいと思ひます。つれづれいこともないので、大人になつたら絶体につしりたいです。

コクヨ 10x20

コクヨ 10x20

№

№

自転車から始まるわたしの機械物語
 わたしの祖父母は、自転車屋を営んでい
 る。そのとき、小さい時から自転車を見て、さ
 ったり、勝手に組み立てたりしていた。
 自転車には、部品が百個以上も使われてい
 る。その部品の大きか他の機械にも使われ
 物だ。ネジやバネなど学校での理科の授業で
 作る機械から、車門家が作るような難しい機
 械にも使うようなものまでいろいろな部品で
 作られている。
 わたしは、そんな自転車に興味を持ち、手
 伝ってもらいなから、自分で自転車を組み立
 てたこともある。最初から、少く組み立てら
 れた部品と、一つ一つの部品を順番に組み立
 てて行く。たか、その時感じたのはおどろく程
 多くの部品が使われていたことだ。
 最近、父の研究室に行つたことがあつたが
 見た何けでは訳の分からない物かたぐさに見
 いてあつた。わたしは、その見た機械を見て

20x20=400

いるうちに「機械」が「おもむき」で思っている。機械に興味がいって来た。近年、問題となっている地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を少なくする。電気自動車やハイブリットカーが生産されるようになった。しかし、ハイブリットカーは二酸化炭素の排出がゼロの車ではない。加えて、電気自動車は走行中には二酸化炭素を排出しない。ハイブリット、まだ一種類しか販売されていない。ハイブリット、車の値段が高い。しかし、高いとい

う問題ならば、生産量を増やしていくことで解決できる。また、排出量がゼロではないという点も、今後の技術開発で排出量の削減は大きい期待できる。

「め」は、車だけでなく、家電も良くなって行けば良いと思う。最近では、一人暮らしでも、干しヒヤヒヤエマコを何台もつけている家が多い。そこで、現在売られているエマコ家電よりもエマコ家電を作りたい。エマコ家電を作りたいからエマコ家電の二酸化炭素を排出している火

20 x 20 = 400

力発電所が必要なくなるような、少ない電気で使える家電、機械を開発してゆきたい。

そのために、これから機械について調べたい。次に機械についての話を聞いた。機械について知っていると、思っている。

20 x 20 = 400

みらいのぼくとひ行き

二年 さいせい

ぼくは、きかいの中でひ行きが大すぎです。5月にやっこのれました。のる前に見たひ行きは、とても大きかったです。ちかくて見たエンジンは思ったより小さくて、みんな小さなエンジンでこんなに大きなひ行きをほんとうにとばせるのかなあと思いました。ひ行きは、すばいです。遠いところへすぐ行けるし、おもいのに空にうかぶし、はやい

スピードでちやくりくするのにすぐとめられます。

ひ行きは、たのしいです。空からのけしきを見られたり、まどから羽を見ると羽のぶひんかのびたりななめになつたりするからです。だから、大人になつたら羽をうごかせるパイロットになりたいです。空からけしきを見るのがいつもできるし、しかも前のけしきも見えるし、羽をうごかして上下左右にそうじやうすることもできるからです。

でもお父さんから、

「ひ行きやじどう車をつかうと、ほっきよくとなくぎよくの氷がとけるんだよ。」

という話を聞いて、びっくりしました。とけてしまったらペンギンや白くまがすめなくなつてかわいそうだと思いました。でも、ひ行きをつかわなくなつたら、ぼくは、とてもこまります。だからパイロットのしごとをいれけれど、まっほっきよくなどの氷がとけないひ行きをつくる人になるのもいいかなあと思います。ひもいまは、そんなにすばいひ行きはつくれないから、学校でベムきまうして、人もどうぶつもうれしいひ行きをつくつて、じぶんでつくつたひ行きをせかいにひろげていぎたいです。ペンギンは鳥なのに空をとべないのはかわいそうだから、そのひ行きにのせてあげたいです。



優秀

機械はロボット、ロボットを作る夢

高橋 和華

未来の機械、機械はロボット、私は未来の
ロボットと考えてみた。リッしよに遊んでく
れるロボット、それはとても人にやさしいロ
ボット、そしてとても器用なロボットだ。元
気で毎日遊んでくれて、にぎやかで楽しいロ
ボットだ。いろいろなことかできるロボット
こんなロボットをみんな考えて作ってみた
い。

運動ができるロボット、心があるロボット
誰とでも遊んでくれるロボット、鶏だじびな
く、友達とか、お父さんやお母さん、弟や妹
など、相手を区別して認識し、遊んでくれる
ロボット、人に好かれるロボット、人を好き
になっくれるロボット、こんなロボットが
できるかもしれない。
人間と同じような生き方をするロボット、
生まれたり、死んでしまったり、でもこ
れはまったく人と同じではない。生まれると

コクヨ ケ-10 20X20

いうこともロボットとして生まれ、ロボット

として死ぬ。ロボットがロボットを作り、ロ
ボットが生まれる。ロボットが死ぬというこ
と、それはいろいろな部品が少しずつ壊れて
しまったり次第に動かなくなってしまう。
人間のものは人やあかすのようなもの、必要に
応じて必要なものを自分で探して補給する。
性格が私に似ているロボット、自分が人間
だと思っで動き生きているロボット、人間の
心を持つロボット、そしてとても遊びが大好き

きなロボット、自分から私を遊びに誘ってく
れるようなロボット、サッカーや野球など、
スポーツができるロボット、文字が読めて言
葉が理解でき、そして文章が書けるようなロ
ボットができるの、良いと思う。
毎日のこんな立ても考えて、食事の支度をし
てくれるようなロボット、また一緒にお風呂
に入ってくれるロボット、水に強いロボリ
ット、泳ぐことができるロボット、人を助けて
お手伝いをしてくれるようなロボット。

コクヨ ケ-10 20X20

をいっしょに考えて、悩みを解決してくれる
ロボット、お話しが出来て、もちろん歩くこ
とが出来るロボット、子守をしとくれるよう
なロボット、そらじをしとくれるロボット、
いっしょに学校まで送ってくれて、私達を守
ってくれるロボット、子どもものほしがるいろ
いろなおもちゃを作ってくれるロボット、人
間の生活を助け、たよりになるロボットを作
れるのではないかと、私は思う。

頭の良いかしいロボット、いろいろな問

題を解くことが出来るロボット、人にいろい
ろなことを教えてくれるロボット、ロボッ
トにもロボットとの友達がいるロボット、なめ
かに動き、しなやかにまるやかにやさしく動
くロボット、車を運転できるロボット、この
ためには、ロボットの作り方をいろいろと研
究して工夫しなければならぬ。多くの人が
考えてきたことを学ぶことも大切なことだ。
こんなロボットが出来たら、ロボットと私
は友達になりたいな。

人のため地球のための機械
今、日本人の抱きたいのは機械といっし
よにくらべています。たとえば、冷蔵庫や電
子レンジなどは家にはいっばい機械があります
その中でよく使われているのは車です。人は
車をよく使っていることが多くなります。でも
車を使うとせつたいに排気がスヤニ酸化炭素
が出まします。それは、地球がまっ
たしまいます。人はそれをしつていいますが、
だからといって車を捨てることはできません。

なのでいま世界中の人が排気がスヤニ酸化炭
素がまったと出ない車をつくらうとしていま
す。十年すればそんな車がつくられると思いま
す。未来にはもつといろんな機械がつくられ
ていえると思います。僕は人にやけどする機械を
つくりたいと思います。人にやけどするとい
いっても何かをいっばいつくる。といわれ
ればなく、たとえば地震や火事などがあつて
いる人たちを救うだけじゃなく見つけてすぐ
にたすけられる機械をつくりたいのです。

中川 創磨

僕の夢は、こんな人にやくだつ機械をい
ぱいつく、てみんなによろこんぶもらうこと
です。機械もくると言うのはすぶくおすか
しいことですが、かんばつていきたいと思
います。おすのふ、いまから、ずつと勉強を
したい大学に入つて機械のことをもつとも
としたりたいです。

コフヨ ケー10 20X20

地球にひつどうなきかい
はかっか
りより
ぼくは、ニさんかたんそ取りロボットが地
球にあつたらいいなと思います。なぜその
ロボットがあつたらいいなと思つたかとい
うと、地球では、地球温たん化が進んでい
からです。
でも、ニさん他たんそをとりすぎると月が
たいにさむくなつてしまふので地球にちよう
ど、いらくらいにします。

ロボットの形は、うさぎ形です。
車が通る所や火力発電所の近く、世界に合
計で半兆こおきます。
色は、それぞれがあつておくときれいな
ります。
大きさは、親うさぎと子うさぎがいるので
それぞれちがいます。
親うさぎは、火力発電所をたんとくします。
子うさぎは、町の中をたんとくします。
そのロボットは、親が大きいのでみんなで

作らないと作れません。

子うさぎは、一人前になるまで、火カ発賣所には、たん当できません。親うさぎは、年をとったり、めれたりしたりしたら、うりします。そして、また町の中でかっやくします。

このロボットがあつたう北きよくのこおりは、とけません。それから海面が上がりません。

それうしたり、このロボットときれいな地球

です。めえます。こんなロボットもほくは作って見たいです。

機械でこれからの社会を変える

大田区立赤松小学校四年 永野 敦也

ぼくは、自然や緑を自動的に増やしてくれる機械があればいいと思います。理由の一つは、自然や環境がどんどん破壊されているのを、たんたん元に戻すことができるからです。しかし、よく考えてみると他のことに使えることが分かりました。

それは、木に關係があります。葉の緑色を見ると、心がいやされることになりました。

また、森林浴をすることもできます。とくに水道水の元になる、水源林も、増やすことができます。今、心配されている、地球温暖化対策をすることもできます。身近に自然があれば、心がいやされて、生活が幸せになれると思います。なので、このような機械があればいいなと思います。

今まで発明されたどの機械も、最初は、ありえない物でしたが、やってみれば、それが実現できています。だから、ぼくの考えたこ



の機械も実現すると思ひます。この世、この地球には、必要な機械しかありません。ぼくが考へた機械も、必要だと思ひます。機械とは、人間が時間をかけて使つてきた物です。なので、ぼくは石器もリッぽな機械だと思つています。何事も、目的があるからこそ、作らてきたのです。目的がなければ、作る必要はありません。なので、ぼくは目的があつてこそ、このよな機械があればいいなと思ひました。ある機械を發明すると、便利になつたり、楽になつたりします。そして、社会がぐんと変わります。変わつたところから、また変わつてまた変わつて新しく変わつてつていきます。ぼくの空想以上の物がどのようにできていくかが楽しみです。

人間の機械の進化、進歩はすごいと思ひます。空想を実行し、失敗を成功に変えて、それを実用化する。そこからさらに、つもつと便利にならないか。つてここをこうしたらどうなるか。などいろいろな事がすく考へまんで

20x20

しまります。そういう想像力が未来の社会を変えていくのではないのでしょうか。

20x20



未来の機械
 滑川 諒
 播来ぼくは、ロボットの作ってみたいのです。
 ぼくは機械をつくらせて人のために役立つ仕事を
 してみたいのです。たとえば、会社で働く
 しそうなきでも光の速さで走る車やハ体の
 不自由な人でも運転出来る車、家事を手伝っ
 てくれるロボットなどを作る仕事です。
 こんなことを想像していろいろうちに「未
 来の機械」はどんな物かということを考えま
 した。未来の機械は大きく分けて二つあり、
 一つは不便を便利にする機械です。道案内を
 してくれるロボット、人のかわりにキッチンな
 仕事をしてくれるロボットなどです。もう一
 つは、不可能を可能にする機械です。これは、
 時を自由に行き来出来るタイムマシンなどで
 す。
 また、ぼくは自分のためには、「サンタ飛
 見機」をつくらせてみたいのです。クリスマス
 日に、24時間部屋をかん視していて、サンタ

20 x 20

07 x 07

クロースが来たら教えてくれる機械です。な
 ぜかというところ、だれも教えてくれないので、
 自分で解明したいからです。「サンタ飛見機
 」をつくらるときは、24時間かん視出来るよう
 に電池などをたくさんつんでサンタクロース
 をにんしきしないといけないし、どうやって
 サンタクロースがいたことを教えてくれるの
 かなどとたくさん問題はあられるけれど、じつた
 い実現したいです。
 しかし、社会を便利にしようとする機械をどん
 どんつくとかんきょう問題が起きると思いま
 す。電池はリサイクル出来ないからゴミ問題
 になります。また、ガリリンは、地球温かん
 化を進めます。そしてもう一つの問題は、人
 々が運動不足になることです。どんどん機械
 が身近になると、自分が動かないで、機械た
 全部は事をまかせるからです。機械を開発す
 るときは、問題が起きないように作りたいで
 す。
 ぼくは、人の役に立つ機械を作るために、

たぐいん研究したいです。

20 x 20

ぼくのユメ

原田 拓実

ロボットのことも知りましたが、
 は、發明家になろうと思っ
 ていました。けれど、
 何か不都合が古代生物に
 きょう味を持ち、
 古生物学者になりたい、
 そう思うことに
 なりました。ロボット
 のつなかりは？ そう思
 う人が多いと思います。
 あなたもそうかはあ
 りませんか？ 下は、
 実に関係があるのです。
 よく、ぼくは図かんを
 読み、それを見て絵
 を書きます。けれど、
 動きません。CGでは
 動くと思いましたが、
 立体感を出ません
 立体のせいもありませ
 すが、やはり動きませ
 ん。そして、実際に
 動くロボットを作りたい
 と思います。それも、
 精密に。
 そして、一つぼくに、
 それは単なる空想で
 はなく、言わんばせら
 れる教養をくれたも
 のが、ありたいです。
 それは、コアノマロカリス
 のロボットです。新
 種です。か、どう
 体の動き
 べき考えられた
 ものです。けれど、
 欠点か

ありました。一丁は、頭と尾の部分がよいこ
 とです。ぼくはそこを作ってやる、そういう
 気持ちになりました。
 それと、水虫には入らないことです。水虫
 でパキパキやっやっしてただけで水にもぐ
 りたいのです。
 もう一つ、重要なことが欠けています。そ
 れは、空想の動きということ。ぼくは空
 想でけたく、三式を機械で調へ、作るのです。
 その機械も、ぼくが作ります。そして、扇
 葉の三つ、扇葉を製作し、水に強く、そしてそ
 のまきの古代の海をくぐり、元した水族館のよう
 な大きなしせうを作ろうと思ひます。その
 ころには、色々な機械が発達し、生活も楽に
 なると思ひます。ぼくもその機械を作る
 技術者達の一人になろうと思ひます。いや、
 なります。

未来の機械
 東良 知幸
 未来のぼくは旅をしてゐると思ひます。一
 番最初はタンガニに行きます。旅の内容は
 大人いゝるな回の人に自分かゆくバイオリ
 ーをきいてもらふこととです。そのため
 にパンダ型のキヤリアバリの巻をつけて旅をし
 ます。でも、そのキヤリアバリの巻は少し特別
 で、機械な、ていませう。三つきのうと、とく
 ちよつがあります。
 七くちやうは、パンダ型でリックもなるこ
 とです。
 一つ目のきのうは、頭とついてる自動式虫
 かけ機です。二の虫よけ機は、
 一オン。
 三のきょうと電原が入り、自分から、直撃×
 ートルに虫よせつけません。また、
 フオフ。
 四のきょうと止まります。
 ニつ目のきのうは、お中ロフにてりる、直

水セリ、そう機です。この直水セリ、そう機は、一
 時間に、三十リットルの直水を造つてくることか
 できます。でもこの機は、川を直水にする
 ので川が湖、海かないとつかえません。二の
 機械の、でんがくは、自動虫よけ機と同じです。
 三つ目のきのうは顔に書いてある自動はん
 やくきです。このはんやぐきは、はなしかけ
 るてすぐには、日本語でほんやくしててまます。
 そろそろとかなかかえしにくいと子は、か
 ありにこそばをかえててくるきのうもあつ
 ます。

また、せゆにはバクオリンと、4月、まづ
 わた、4月、1日、いやがくふたて、かくふかは
 いていて、11月でモリけてベ入りです。
 かくは本当にあつたら、なと思ひました。

ギアのしんば
 ひかしいがみよしのり
 ほくは、おにいちゃんのいてん車をとつ
 たとき、ギアがバクバクたかのでいて
 人車やさんといつて、バクバクをつけてもらい
 ました。新しいギアのクバクがうれしかつた
 です。

ギアは、せいけんパンリなきかいて
 なせかというど、さかちありたり上つたり
 するのせけん人夫にできるからです。車にと
 バイクもつけるよ、と思ひます。ほくは、
 四口パンにいくとき、二回いぐつたとい
 ます。よくつたのは、ろそくと4そくです。
 かけはスピードがすぎない、ゆっくりに
 もないか日です。とし、ろそくしかな
 かつた、つかいません。とし、そんかいてん
 車しか、なかつたら、1そくしやつたいませ
 ん。

おりのじてん車には、マッパでひか
 されたり、いと思ひます。口そくまであ

ようにしてうみめ上りか、本の中でたれも見
たことのないりやどうぶつちかまゝだ
です。

コクニ ケー10 20X20

1/2

おしるほつとかきたり
みかしのまきこ
わたしは、しよろがくしおんかいです。ま
かいはむすかしいのでるほつとあかんがえま
した。
おうちのみんなにるほつとがけうけにきた
らうれしいかいやかきいてみました。
まとうさんにききました。おとうさんはう
れしいといいました。とうしてまきとよし
ごとをしてとれるからといいました。
おあまんにききました。おあまさんはう
れしいといいました。おはんをかかりにつく
つておあまんにききました。
おにいちゃんかひろくんはきいてみました。
るほつとはいちたといいました。いいあるす
ねたりしたらいやだ。かろまかあまさんがは
んをふるほつがいいから。といいました。
わたしはあうちにもほつとがきいた。い
でも。どうしてか。というとはやくはんきよ
しなさいといわれておしりやんやんされるよ

コクニ ケー10 20X20

いからからでさ。
 こもかおいいろぼとどまつらなかつた
 いともいいです
 おはあちやんちのいぬのなあちやんろぼ
 となびいいです。

コクヨ ケー10 20X20

ぼくがほしいまかい
 東野 弘道
 ぼくは、すぐいと思いきかいは、フワード
 プロセッサーです。なぜかというところ、お母
 さんが、夜ごはんを作るとまに、大きなキヤ
 バツが五秒ぐらいで、という間に五ミリぐ
 らいの大きさに切れていだからです。ぼくが
 ほうちょうでキヤバツを同じ大きさに切るこ
 とは、できないと思ひます。まかいは、人間
 ができないことをかんたんにできしてかばやく
 できてすが、いかなと思ひました。
 ぼくが、あつたらいいなと思ひまかいは、
 フワードのフワードです。
 先生が黒板にフワードを書いた長い文を、フ
 ワードのフワードを手でもって、スイツチをおすた
 りで、あつというまにノートにフワードをすた
 もつかれたいし、してあげません。ノートもま
 めいにフワードをお母さんにほめられるかもし
 れません。
 また、フワードのフワードは、字をうつすだけ

コクヨ ケー10 20X20

でなく、線を引いたり、「色えんぴつ」の
 「色えんぴつ」もありません。「色えんぴつ」は、
 は、たぐさんの色が使えてきれいです。
 また、「うっし」は、小さくためて
 手のひらにのり大ききになり、もって行くの
 かかんたんです。
 こんなふうには「うっし」は、いろ
 なことに使えます。もし、目が見えない人
 が使っても、字や絵をきれいにうつせたりで
 きます。また、赤ちゃんがもつと、きれいか
 らくかきかかやゆかにうつしてしまふから
 ちゅういしてください。
 どうやら、たう字をうつせよかの仕組みが分
 かんないけど、ぼくは、いっばいけん強をし
 て、大きくなったら、「うっし」を作っ
 てみたいですよ。

コソ ケー10 20X20

未来に残る機械
 福村 友子
 みなさんの身の周りには、たぐさんの機械
 がありますよね。勉強をするために手元を明
 るくする電気、食べ物を保存しておくための
 冷蔵庫、調べものをするため買い物をする
 ためのパソコン。私達の周りには、機械でいっ
 ぱいです。しかし、機械を使って生活するの
 はあたりまえだと思いませんか。はるか
 昔、弥生時代や縄文時代には機械なんてなか
 ったのですよ。
 現代は外が暗くなっても電気があるので、
 夜おそくまで起きていられますよね。しかし
 縄文時代には電気はないので、暗くなったら
 すぐおいていました。冷蔵庫もないので、食
 糧はかんそうさせたし、保存させていまし
 た。また、漁をするにも船は手こぎで、稲を
 からのもかまでかるといふように、すべて手
 作業で仕事をしていました。それに比べて現
 代は、ものを温めるのも、田植えをするのも

コソ ケー10 20X20

すべて機械がしています。昔に比べて現在は、
 仕事のふたんが減りましたね。
 しかし、機械化が進むにつれて、困ったこ
 とがでてきました。その代表が、CO₂のはい出
 量の増化です。CO₂のはい出量が増えると、周
 りの空気がきたなくなり、温だん化にも
 なり、CO₂を取り入れ、酸素にする木もかれ
 いぎます。温だん化が進んでいくと、土地は
 さばく化していき、ついには人が住めない環
 境になります。この事たいは、人が自分を楽
 にすることだけを考えて、周りの自然のこ
 を考えなかったからおきたのです。
 このことを考えると、機械はないほうが
 いいと思います。機械に囲まれている人間が
 手作業で毎日の自分の仕事をこなしていくの
 はむりなのです。
 そうすると、これからは、自分の生活を便
 利にすることだけを考えるのではなくて、自
 然も豊かでないられることも考えなくてばいけ
 ないのではないしょうか。

コクヨ ケー10 20X20

自然も豊かでないには、電気も水も節約し
 エコでいることを地球上のみんなが心がけて
 ないかつ、未来の自分の子どもが生活しやす
 いような機械を作ってあげることが大事では
 ないのではないしょうか。

コクヨ ケー10 20X20

自動でお風呂があらえるきかい
 しゅうとく小学校 四年 藤原 由衣
 お母さんは、いつも家事をや。ていていそ
 がいそうです。ときどきわたしや弟がお風呂
 あらいを手つた。ていますが、自動でお風呂
 があらえるきかいがあ。たらいいなと思いま
 す。
 ときどきお父さんにきれいにあつている
 か調べてもら。ています。
 「ここ、ざらざら。」
 と言われると、やりなおさないといけません
 だから、お風呂あらいは大変です。
 おばあちゃんのうちのお風呂は、まごをも
 やしてお湯をわかすので、お風呂に入れるよ
 うにしようとするものすごく大変で、わた
 しにはできません。でも、うちのお風呂はボ
 タンを一っおせばお湯が入れられます。おは
 ありやんのつちとくらへるとず。とべん利で
 すな、お風呂あらいも自動でできればも。と
 べん利だと思えます。

コク 7-10 20x20

わたしは考えた自動でお風呂があらえるき
 かいのとくちよ。うは、三つあります。一つ目
 はつるつるであらいのこしがない所です。わ
 たしがあらうとあらいのこしがあることもあ
 りますが、きかいは自分であらいのこしをみ
 がきなおします。二つ目は、とても早くあら
 う所です。そつすれば、お風呂に入りたい時
 にすぐ湯を入れられます。三つ目は、せんざ
 いがなくともつるつるになる所です。せんざ
 いを使わなければかんきょうにもやさしく、
 せんざいをかう必要がないのでせつやくにも
 なります。
 このきかいを使。て毎日つるつるでピカピ
 カなお風呂に入れるととても気持ちがいいな
 と思います。自動でお風呂をあらえるきかい
 があれば、わたしたちはお風呂あらいのまつ
 たいをしなくてすむので他の手つたいができ
 て、も。とお母さんの役にたてると思います。

コク 7-10 20x20

ロボットと言われて最初に思い浮かべるのは何だろうか。ターミネーター。トランスフォーマー。それともホンダのアジモとか。いや、厳密に言えば「機械」と呼ばれるものは全てロボットなのだ。

それでは、理想のロボットは何だろう。もちろん、あらゆる場面に対応できるロボットだろう。しかし、そのためには多くの機能を果たなくてはならないので、とてつもなく大きくなる。そこで問題が生じてくる。その大きなロボットをどう動かすか。答えはただ一つ。核。そう、原子力だ。しかし、もしも暴発したら原子力爆弾級の大爆発が起こる。困ったものだ。

今、作りたいロボットを聞かれたら、僕は迷わず答える。「光の速さを超えるスピードを持つ無人宇宙探査機」だ。僕の思い浮かべたこの宇宙探査機は、次のようなものだ。動力は核、及び原子力だ。当初はソーラー電池を考えていたが、光よりも速いので光はこの

コクヨ ケー-10 20X20

ロボットには届かないと気付かされた。次にボディだが、隕石にも耐えなければならぬ。そこでボディには「液体金属」を使うことにする。これならば、ぶつかっても問題ナシだ。文字通り「液体」だから。

この探査機の目的は「宇宙の果ての探索」及び宇宙拡大の謎の解明だ。聞くところによると宇宙は光の速さで拡大しているらしい。そこでその理由を聞いたところ、「そうぞしか説明できないから」だ。そうぞ。ならばいつか説明できないうちに、もう一つ、そうぞ。そのこと僕が解明しよう。そう思ったからこんな計画を立てた。他にも、手のひらサイズのロボットも良い。棚と棚の間に落ちた物や隙間の掃除も楽になる。母も喜びそうだ。

これからも科学は発達しつつ、ロボットは無限の可能性を手にするだろう。そして平和のために、悪用されない工夫も必要になる。ロボットのことも考えれば、宇宙のように壮大な気持ちになる。ロボットを作ることも通して、未知の世界に挑んでいきたい。

コクヨ ケー-10 20X20

僕がびっくりした自動販売機
宮崎 翔也

僕はゴールデンウィークに家族で車に乗
り、坂へ行きました。
高速道路に乗って、公島是東広島市の小谷
サービスエリアに止まって、休けいを取りま
した。
その時、僕はおなかが空いたので、ラーメン
を食べる事にしました。
僕の住む大分県では、自動販売機で食券を
買って、食堂のカウンターに食券を持って行
って注文をしますが、僕が初めても驚いたの
は、食券を持って、いこうとしたが店の人に、
「自動になって、いるからいいです」
と、言われました。
最初は、自動だと、言われたけど、本当にさう
なっているのか、なと思いましたが、
そして、少し待っていると、僕の番号が叫
ばれました。
だから、販売機で、食券を買った、何も

言わなくても勝手に食事を作ってくれた
と思っ、おもしろい。今の技術が、進歩した人
だ。という、気持ちがありました。
自動オーダーの販売機は、なにせ、食事が
届きます。はい、はい、大分では、店員に食券を
いまだに見せなければなりません。
だから、今の技術は、前より、かなり、進歩し
ているんだ、と思います。
なので、みなさんは、昔より、便利になつた、か
待たなくて、よくなつた、とり、た、よ、う、な、感、じ、で
喜んで、いました。
今は、自動オーダー、だけ、僕、か、大人、にな
つた、今の、技術、かも、と、進、ん、で、い、く、ん、だ、ね
と思、い、ま、し、た。
ですから、僕の、住、む、大、分、県、も、い、ろ、い、ろ、便、利
な、物、を、さ、か、し、て、み、たい、で、す。
最後に、ロボットが、僕、達、た、食、事、を、運、ん、で、
くれる、よう、に、な、る、と、ユ、ニ、ク、で、お、も、く、ろ、い
な、と、思、い、ま、す。

夢はロボット博士

みそのろ小学校四年 陸田 駿弥

ぼくは、五才の時、あい知地球博に行つてトヨタ館のロボットを見て以来、ロボットが大好きです。

今では、ロボットを作りたい。ロボットを作って人の役に立ちたい。人を救いたい。ということをもすごく強く思うようになりました。そのようなことを思つた理由は、二つあります。

一つ目は、地しんや火事で、がれきの下じきになつて死んでしまう人を、ニュースで見たりからです。その時、ロボットで人を救つてとができることを知り、感動しました。

二つ目は、アシモロボットが、飲み物をおぼんにのせて、それを運んで、人の役に立っているのがたを新聞で見たからです。ぼくは人の役に立つロボットを作っている人がいることを知り、その仕事にきょう味を持つようになりしました。

このような二つのことを知つて、ぼくは、ロボット博士になつて、人の役に立つロボットを新たにかい発したいと、強く思うようになりました。

けれど、今あるセンサーやそうちだけではだれでも作れるし、げんかがあるのので、ぼくにしか作れない、ぼくのオリジナルのアイデアをたくさん取り入れた新たなロボットを作りたいと強く思っています。

そのロボットの特長は、目の前にかべがあったら、かべやがれきをこわさずに、すりぬけることができ、昆虫のように目と耳が人間以上にするとく、すばやく行動でき、温度の変化にも強く、空を飛び、海にもぐり、家族のように会話ができ、遊ぶこともできるようなすぐれた特長を持つたロボットです。

ぼくは、このロボットを使って、一人ぐらしのお年よりの会話相手として、このロボットを活やくさせていきたいと思っています。また、地しんや土しゃくすれ、火事などの

時、このロボットのすぐれた特長を生かして
人を救って、人の役に立ちたいと思っ
ています。

そのため、今は、レゴマインドストーム
を使って、オリジナルのロボットのアイ
デアをふくらませています。

ロボットの未来

四日市市立朝明中学校二年

築川 樹

今、日本では、とても多くの機械が働いて
いる。ほくたちの身近にも、多くの機械があ
る。その中でも、今、最も注目されているの
が、ロボットだ。

現在、日本では、世界でもトップクラスの
ロボットが開発されている。例えば、本田技
研の「アシモ」などだ。ぼくが初めてアシモ
を見たとき、とても驚いた。アシモは、人間
ではないのに、二足歩行で歩いているからだ。
二足歩行で歩くためには、しっかりとバラン
スをとることが必要だが、ロボットでは、と
ても難しい。そのため、アシモには、様々な
最先端の技術が詰まっているのだと思った。
だから、日本のロボットの未来に、期待でき
ると思った。

アシモのほかに、ロボットは様々な分野
で活躍している。愛知県に、デンソーの工場

がある。ぼくは小学校六年生の時、その工場
 に見学に行った。そこでは、自動車部品の組
 み立て作業に、ロボットを用いていた。この
 ロボットは、人の手のような形で、先がドラ
 イバーの様になっている。そして、見た目よ
 りもずつと速い速度で、とても小さな部品を
 組み立てていく。だから、人が作業するより
 も数段、効率が良いのだろう。
 ただ、アシモや、デンリーのロボットも、
 一家庭に一台ずつあるわけではない。そのた
 め、ぼくには、あまり身近に感じる事ができ
 ない。だから、もっと身近にあるといいなと
 思う。
 近い将来、自分の友達のような、相談でき
 ヒントを与えてくれるようなロボット、自分
 が老人になった時、優しく介護してくれるロ
 ボット、料理するのを、手伝ってくれるロボ
 ット、家族を笑わせるようなしぐさをして、
 明るくしてくれるロボット、がいたらいいな
 と思う。

コクヨ ケー20 20×20

企業などが、ロボットの開発にもっと取り
 組んだら、ドラえもんのようなロボットも、
 夢ではなくなると思う。

コクヨ ケー20 20×20

「何でも作ってくれる機械」

山田 功士

「さいりょう」を入れたら、そのさいりょうで作れる物を何でも作ってくれる機械がほしいです。

「ほくはじしよやとけいかえんびつ」などを作って、町のみんなに売りたいです。

時にはエアコン、リモコンなども作りたいたいです。車の模型も作ってくれるとうれしいです。本もラジコンも、ラジパも作ってみんなに売ってあげたいです。

トマトは夏の食べ物ですが、たねを以ねれば、春でも秋でも冬でも作ってくれます。

車などのさいりょうは、機械のほうに行きます。トマトやナスなどは食べ物、ほうろくに作ります。

何でも作ってくれる機械ですが、コンピョータで作ってほしい物をかかないと作ってくれません。機械がこわれたときは、必ず機械のしやうツ屋さんに行かないとこしやうがよ

コクヨ ケー10 20X20

けいひどくなりませす。

水を機械に入れると機械が水を吐き出して、すぐくうるさい音がします。

たとえば時計を作ったら、つのはう十センチの物、せつちやくざいのニセンチと三センチのプラスチックのぼうと、でんばアンテナ三ミリの物を機械に入れば、四分でできませす。

つのはう十センチの物の色はピンク色、金色、お母さんにも作ってあげたいです。車の模型を作る時、気をつけて入れないと、バラになつて取り出し口から出されませす。

何でも作ってくれる機械があるといいなと思ひませす。

コクヨ ケー10 20X20

未来の機械はどうなるか
 小金井第一小学校 山本 温子
 私は、よくこんなことを考えるようになった。
 「未来の機械はどんなものなのかな」。
 今、地球温暖化やエコなどという言葉をよく耳にします。私は、この言葉を生かして未来の機械ができるのではないかと思えます。
 たとえば、できるだけ二酸化炭素を出さずに走る自動車。今は乗用車にしか使われていませんが、未来のものはトラックや電車などにも使われていると思います。
 また、アメリカで発明された「シユ前大統領」も使った「セグウェイ」。
 セグウェイとは、体重を前や後ろにかけることで前進をしたり止まったりできるモーターのスイッチを付ければ自動で動く乗り物です。これが、価格も下がれば世界に広がれば、自転車などをフカわずに身軽に移動できる「便利もの」になれると思います。

コクヨ ケー-10 20X20

このようにまだまだ皆さんの可能性を持っている機械が数多くあります。これらをもっと利用すれば、もう「地球温暖化」や「環境破壊」などの言葉を耳にすることもなくなると思います。
 また、私たち自身も使わずに勝手に地球を付けてながら機械を利用すれば、緑があふれる地球に熱かぜをひかせるようなこともなくなります。未来を支えることになる私たちやこれから生まれてくる赤ちゃんも苦しまなくてすみます。
 今、とても流行している「新型インフルエ」ンガのワクチンを作り出すのは機械です。
 今、赤リキコレラなどで苦しんでいる子供や大人たちに生活に必要なものを作ったり運んだりすることも機械が使われています。
 私が支えることになる「未来」も、機械と共に作りあげます。色々な機械を發明した人、実用化に努力をしてくれた人に感謝をして、これから未来を支えようと思えました。

コクヨ ケー-10 20X20

大きなおんしつ
 二年 吉川 祥太郎
 大きなおんしつは、そとがあつくなつたと
 さは甲はずしくなります。そとがさむくな
 ったとさは甲はあたたくなくなります。
 よるにはいろいろな色のでんぎがついて、
 おがるくなります。でんぎにねるまでついて
 います。
 どうぶつを入れると、大きくなつたり、あ
 たまがよくなつたりします。犬やさるを入れ
 ると新しいことをおぼえたりします。
 人げんもおなじではやく大きくなつたりレ
 ます。てすとは百てんかとれます。
 たべものはつくえのそばからでてきます。
 おふろもあつてすぐくひろいおふろです。
 ロボットをおんしつにいれるとせいのびな
 いけとあたまがよくなります。
 となりのへやにはうみがあつてさかながい
 ます。いろいろなまががばいいてすい
 ぞくかんみたいです。

コクヨ ケー70 20x20

ほしをみるぼうえんやうもあります。よ
 るになつてみるとほしが千こぶらひあります。
 うんどうでみるすごんでかいこうえんがあ
 ります。はしつたりしてあそべます。木もい
 ばいばえていきます。
 ひみつのすいどうもあります。なぜひみつ
 なのかは、水がなくなつたりしてむずくなお
 るからです。
 ひさだしがあつてなかにほかほかはいて
 いてけがをしたときはすぐにおんしつからで
 けられます。うちうにいったときはそとにで
 けられないので水であらうとすぐなおります。
 どうやってとぶかとゆうと、ロボラでそら
 をとんでいくのです。やさしいロボットもつ
 いていきます。
 かぞくやともだちにあうとさは、おんしつ
 とおんしつでかつたいします。おんしつをか
 つたいしてもつながつているのでちがうへや
 へいけます。こんがおんしつがあつたらいい
 などおもいます。

コクヨ ケー70 20x20



